

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

<b>会議等結果報告書</b>			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	2 0 8
		決裁期日	平成 2 2 年 9 月 1 0 日
名 称	上富良野町協働のまちづくり推進委員会（第 6 回）		
日 時	平成 2 2 年 9 月 6 日（月） 午後 7 時～午後 9 時 1 5 分		
場 所	役場 3 階 第 2 会議室		
出席者	委員 9 人 町民生活課事務局 3 人 合計 1 2 名		

内 容

〔進行：町民生活課長〕

町民生活課長から、欠席連絡のあった委員について報告。

あいさつ

三島会長： 第 6 回会議を開催する。9 月 3 日に配付した事務局案を見ながら会議を進め、全体の協議を行いたい。

町民生活課長： 要綱に基づき、ここから先は会長が進行する。

議題

### 1 協働のまちづくり基本指針について

基本指針（全体部分）の協議

三島会長： 事務局から変更した点を説明していただきながら進めていきたい。

吉岡主幹： 2～3 ページまでの変更点を説明。

- ・「（1）協働が求められる背景と必要性」には、以前から意見が出ていた少子高齢化について、高齢化はワークショップのまとめを新しい数値で、少子化は、新たに加えている。

三島会長： なにか意見はないだろうか。なければ次に進みたい。

吉岡主幹： 「3．協働の範囲」の変更点を説明。

- ・ 「3．協働の範囲」は第 4 回会議で訂正した点を反映している。
- ・ 5 ページの表の協働が可能な分野の部分で、以前は「環境の分野」としていたが、交通安全や防犯、防災が入っているので生活を加えて「生活環境の分野」と変更した。

三島会長： 4～5 ページは前回までのものを修正したということだが、何か意見はありますか。

上村委員： いいと思う。

吉岡主幹： 「4．協働の形態」と 21 ページの「協働事例」の変更点を説明。

- ・ 「4．協働の形態」は、4 ページの表の B, C, D の順番に合わせたので、「補助・

助成」を1番目に、「町政への町民参画及び政策提案」を最後としている。

- ・ 前回、21ページからの協働事例のページ番号の修正を行い、(先日、会長、副会長とで検討した際の意見により、)「事業協力」は、説明で「協定書などを締結し」とあることから、協定書などを結んでいない事例は今回整理している。
- ・ 24ページの「育児サークル連絡協議会」と25ページの「商工会青年部・商工会女性部」と入れ替えることで、協働事例のページ番号が整理されるので変更させていただきたい。また、協働事例の各団体の活動内容は修正していない。
- ・ 6ページの(1)と(2)の写真は、意見のあったとおり変更している。

三島会長： 6～7ページはこれでいいだろうか。よければ8ページに進みたい。

吉岡主幹： 「5.協働の原則」の変更点について説明。

- ・ 素案では推進編にあったが、「原則」は基本的なことなので、基本編のほうに移している。
- ・ 「(3)共有の原則」は自治基本条例でも「情報共有の原則」としているため、「(3)情報共有の原則」としたいと思う。

町民生活課長：「共有の原則」の説明で、「必要な情報を共有すること」とあり、「情報共有の原則」とするのがいいと思う。

三島会長： よければ9ページに進みたい。

吉岡主幹： 「6.上富良野町の現状と課題」を朗読し変更点を説明。

- ・ 「現状」では協働の相手方ごとになっている。「課題」も同じようにするとずっと入ってくという持安委員の意見があり、修正したが、その作業の中で現状と課題を合わせて説明したほうが分かりやすく、読みやすいと思えたことから、現状と課題を合わせて整理(先日、会長、副会長とで検討した際に了解)している。
- ・ 「(2)町民活動団体」は、「たんぽぽ」の成果を取り上げ、NPO団体が少ないこと、後継者不足、各独自の活動により、連携が取れていないことなど当町の現状によりあった内容に修正している。

島瀬委員： 「(1)町民・地域コミュニティ」の6行目の「昨年から、」という部分は年度が変わるとわからなくなる。年度で書いたほうがいいのではないか。(了承)

吉岡主幹： 確認ですが、福祉を主体としたボランティアや、観光ボランティアなどが独自に活動しており、連携を取ってほしいという表現があるが、そこはどうだろうか。

三島会長： 連携が必要だろうか。

持安委員： ボランティアのくくりをどこにするかという点も難しいところであり、そこを整理しなければ難しいと思う。素案では「それぞれが独自の理念をもって活動を進めており、その広がりが期待されます。」という表現がいい。今回の表現だと連携を取ることが必要ということになるが、その後の推進の方策に出てこない。将来的な理想として、連携できていればいいと思うが、ボランティアセンターとしては、少しずつ連携できればいいと思っている。

吉岡主幹： それでは素案のように、「独自の理念を持って活動を進めることによりその広がりが期待されます。」に戻すことにし、最後の「また、効果的な～必要です。」の部分も削除することによろしいか。(了承)

持安委員： 企業の部分が少ない。

吉岡主幹： 以前は、土の館のイベントや北光電子の盆踊りなどがあったが、現在は行っていないことと、経済低迷の表現はないほうがいいのではという意見を参考にして、整理している。

持安委員： 「4.協働の形態」の「(1)補助・助成」の部分で「行政や企業等が財政支援する」

とあるが、現状と課題では、そういったことが書かれていない。企業の力や経済力をこれからおおいに活用していかなければならないときに、どうして素案にある「近年の傾向として、～増えてきています。」が消えてしまったのかと思う。

吉岡主幹：うちの町では今は止めてしまったので削除した。具体的にどの表現から入れていけばよしいか。

持安委員：「近年の傾向として、～増えてきています。」がいいと思う。(了承)

島瀬委員：13行目にある「職員については～」のところで、「まだまだ協働に～状況で、」の理解度が高いとはいえないという表現は職員に失礼だと思うので変えることができないだろうか。

(協議の結果)「まだまだ協働に～状況で、」の部分削除する。

三島会長：他に何かあるだろうか。

松下副会長：10ページの下から3行目の「従来の縦割り行政の弊害を削除し、」という文章があるが、縦割り行政を排除するためにスタッフ制にした。今もこの文章が入っているとスタッフ制は効果がなかったということになってしまうと思う。(松下副会長は、スタッフ制導入時、職員として主担当)

町民生活課長：職員の立場ではなかなかわからないので、皆さんの意見をお聞きしたい。

松下副会長：スタッフ制がうまくいってなかったのならこのままの表現でいいと思う。

持安委員：課題があって、その解決の方策は？とつながると考えているが、この文章がどうやって方策につながるのかが分からない。

松下副会長：スタッフ制の文章を入れるとまとまりがなくなってしまうと思う。

吉岡主幹：職員からすると、課を横断して調整をするなど、以前よりかなり横の連携は良くなっていることは事実ですが、皆さんから見ると、役場は、縦割りというイメージはありますか。

久我委員：あると思う。

平倉委員：スタッフ制という言葉は初めて聞いた。

町民生活課長：課内はそんなに縦割りではないと思う。他の課とは独立して仕事をしているので縦割りとはいわない。ひとつの係が隣の係の仕事は知らないというのが縦割りなので今はそのうちではないと思う。

松下副会長：現状はスタッフ制なので、それを生かして組織力を強化するという表現にしたらいいのではないだろうか。

持安委員：スタッフ制は最終的にどうなることが目標だったのだろうか。

(スタッフ制導入について説明)

持安委員：素案にこの文章が入っているということは、横の連携を取れていないということではないだろうか。また、「協働型の組織として行政が一体化」という文章があるが、イメージが湧かない。

島瀬委員：「従来の縦割り行政の弊害を排除し、」の部分削除してはいけないのか。もしくは文言を変えればいいのではないだろうか。

町民生活課長：素案の「協働を推進するための方策」の20ページの「(3)協働のまちづくりのための推進体制づくり」の3行目にある「行政においては、～図るとともに、」という部分にしか組織のことについては書かれていない。「行政組織の横の連携をさらに強化し」という部分が該当すると思う。文章は、「関係各課が協働推進のため連携強化を図っていく必要があります。」というふうにしたらいいと思う。

久我委員：「協働型の組織～必要があります。」の部分も削除していいのではないだろうか。

町民生活課長： 「今後、町民と協働のまちづくりを進めるためには、関係各課が連携強化を図る必要があります。」としたいと思う。

三島会長： それでは11ページに進みたい。

吉岡主幹： 「7.協働を推進するための方策」の変更点について説明。

- ・ 素案の「5.協働の主体とその役割」と「9.協働を推進するための方策」は、同じような表現があり、統合したほうが分かりやすくなるということで統合（先日、会長、副会長とで検討した際に了承）している。
- ・ 素案の方策は協働の相手方ごとになっていないとの持安委員の意見を踏まえて、現状と課題と同じように修正したが、この手法では、同じ表現が協働の相手方ごとに重なってくる箇所がある。

持安委員： 「6.上富良野町の現状と課題」で各団体の協働を進めるうえでの課題を述べているが、「7.協働を推進するための方策」ではすべて決まった項目（意識の改革とか）で書いてあり、各団体の課題にあった方策になっていない。

吉岡主幹： 「9.協働を推進するための方策」は、持安委員の意見でそういう形にすると事務局は理解していた。

持安委員： 課題ごとに方策を出してくるという方法もある。しかし、それがすべてここに当てはまるというわけでもなく、あくまでこういう方法もあるという話である。ただ、今のままでは同じものがたくさん出てきているように感じる。この方法だと、方策を協議している中で、気づかなかつた新たな課題に気づくこともできる。

吉岡主幹： 確かにこの区分ではまとめづらく同じ表現を何回も使わざるを得なかった。今言われた方法だと現状と課題に対してどうするかということを基本にするのでまとめやすいと思う。

持安委員の意見のように、形を変更することでよろしいか。（了承）

久我委員： 確かに同じ言葉が出てくる。

吉岡主幹： 「協働を推進するための方策」を作り変えて、次回までに配付する。

町民生活課長： 案を作り終わってからパブリックコメントの手続きをするので、パブリックコメントまでにもう1回会議を行い、完成させたい。

## 2 今後のスケジュールについて

吉岡主幹： 今後のスケジュールについて説明。

## 3 その他

三島会長： 次回会議の日程は、9月14日（火）、午後7時からとする。

閉 会 [ 会議終了：21時15分 ]

上富良野町協働のまちづくり推進委員会 委員名簿

任期：平成22年6月29日から平成24年3月31日まで

6

	所属団体・機関の名称	氏 名	備 考	9月6日
1	住民会長連合会	上 村 勉		
2	住民会長連合会	松 下 力		
3	社会福祉協議会	持 安 弘 行		
4	NPO法人たんぼぼの会	三 島 功 士		
5	ふらの農業協同組合上富良野支所	瀬 川 英 樹		
6	商工会	境 一 義		
7	生活安全推進協議会	島 瀬 良 一		
8	女性連絡協議会	中 澤 正 子		
9	リフレッシュ・マイタウン・かみふらの	奥 田 哲 也		
10	公募	大 内 和 行		
11	公募	徳 武 良 弘		
12	公募	久 我 みち子		
13	公募	平 倉 範 子		

9